

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	キャリアプランニング	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松沢 恵美
科目名 (英)	キャリアプランニングⅠ (Career planningⅠ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間 (Ⅰ・Ⅱ部)					曜日・時限	火曜・1限

【授業の学習内容】

コミュニケーションや基本的対話スキルについて学ぶ。
他人との人間関係の構築や円滑なコミュニケーションスキルの基盤を学び、実践するスキルを身につける。

実施者経験：2003年に日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を取得。その後、ハンドボール、テニス、陸上競技を中心とした現場でコンディショニング、トレーニング指導を担当。テニスにおいてはプロ選手の専属もおこない、日本テニス協会主催の国際大会においてオフィシャルトレーナーを務める。病院併設の運動器リハビリセンターや、フィットネスクラブの立ち上げにも関わる。

【到達目標】

人間関係の基盤であるコミュニケーションスキルとして挨拶や自己紹介の目的や実践法を学ぶことを目標とする。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション		
2回目	コミュニケーションについて説明することができる①		
3回目	コミュニケーションについて説明することができる②		
4回目	コミュニケーションについて説明することができる③		
5回目	基本的対話スキルを実践することができる①		
6回目	基本的対話スキルを実践することができる②		
7回目	基本的対話スキルを実践することができる③		
8回目	基本的対話スキルを実践することができる④		
9回目	グループトークを実践することができる①		
10回目	グループトークを実践することができる②		
11回目	グループトークを実践することができる③		
12回目	グループディスカッション発表①		
13回目	グループディスカッション発表②		
14回目	グループディスカッション発表③		
15回目	まとめ		
準備学習時間 外学習	コミュニケーションは人との関わりです。コミュニケーションは必ず取らないとなりません。授業で習ったことを意識しながらコミュニケーションを取っていきましょう。		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (100%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	そもそもコミュニケーションとは何なのか、そのような人はコミュニケーションを発展させていくのかなど、人間関係に直接影響するコミュニケーションについて根本的な考え方を学習していきます。		
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	キャリアプランニング	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	井戸田 修一
科目名 (英)	キャリアプランニングⅡ (Career planning Ⅱ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	火曜日・3限
【授業の学習内容】							
コミュニケーションや基本的対話スキルについて学ぶ。 他人との人間関係の構築や円滑なコミュニケーションスキルの基盤を学び、実践するスキルを身につける。 実務者経験：大学卒業後、スポーツクラブで約12年勤務。自分自身の現場の中で培った接客等のスキルはもちろん、店長としての現場マネジメントを通して、店舗運営や人材育成等多岐に渡り担当。スタジオレッスンも多数担当。 過去1レッスン内にて120名近くの集客実績もあり。							
【到達目標】							
職業人として必要なマナーや知識、技術を習得することを目的とする。 実際に社会人になった際にしっかり実行できるよう、日ごろから繰り返しすることで身につける。							

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション		
2回目	基本的な社会的スキルについて説明することができる		
3回目	対人行動スキルの基礎である『挨拶』について実践することができる①		
4回目	対人行動スキルの基礎である『挨拶』について実践することができる②		
5回目	対人行動スキルの基礎である『敬語』について実践することができる①		
6回目	対人行動スキルの基礎である『敬語』について実践することができる②		
7回目	対人行動スキルの基礎である『電話応対』について実践することができる①		
8回目	対人行動スキルの基礎である『電話応対』について実践することができる②		
9回目	対人行動スキルの基礎である『接客』について実践することができる①		
10回目	対人行動スキルの基礎である『接客』について実践することができる②		
11回目	ビジネススキル(手紙)を実践することができる		
12回目	ビジネススキル(メール)を実践することができる		
13回目	ビジネススキル(SNS)を実践することができる		
14回目	コミュニケーションスキル試験		
15回目	試験解説		
準備学習時間 外学習	授業で習っている内容を今の環境で実践してください。		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (100%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります まず 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	ビジネスには文書を含めた対人スキルが求められます。就職活動に生かせるスキルを身につけてください。		
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	ビジネススキル	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC講師
科目名 (英)	国際教育 I (International Education I) レベルC						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科						
コース	昼間(I部)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 土曜日・1限

【授業の学習内容】

語彙や文法などについてビデオ視聴、また練習問題に取り組みながらしっかりと学習する。

対面授業とオンデマンド授業のレッスンは同じ範囲となるので、対面授業前の予習や、授業後の復習に活用できる。オンデマンド授業は繰り返しビデオを見たり、問題に挑戦したりすることが出来るので、難しいところは振り返って学習し、しっかりと身に付けることができる。

【到達目標】

リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。

授業計画・内容		
1回目	1.1対面授業と連動 所有形容詞を学ぶ 知人・家族について話す	
2回目	1.2対面授業と連動 所有代名詞(whose)を学ぶ	
3回目	1.3対面授業と連動 話の切り出し方を学ぶ 会話を始める表現を学ぶ 驚きの気持ちを表す表現及び関心を示す表現を学ぶ	
4回目	1.4対面授業と連動 自己紹介をする 職場でのフォーマルなメールを読む、書く	
5回目	2.1対面授業と連動 習慣・ルーティンについて質問する [Wh-question]を練習する	
6回目	2.2対面授業と連動 名詞の代わりに[this, that, these, those]の使い方を学ぶ 職場について話す	
7回目	2.3対面授業と連動 繰り返しを求める表現を学ぶ 意思疎通に問題があったことを説明する	
8回目	2.4対面授業と連動 ポッドキャストについての意見を読む、書く	
9回目	3.1対面授業と連動 「現在進行形」を学ぶ・復習する 今していることについて話す	
10回目	3.2対面授業と連動 「現在進行形」「単純現在形」を練習する スポーツ、運動について話す	
11回目	3.3対面授業と連動 情報を得るため、必要な表現を学ぶ 知らない情報をチェックする	
12回目	3.4対面授業と連動 サービス業界の会社へのメッセージを読む、書く	
13回目	U1-3の振り返り	
14回目	試験	
15回目	解説	
準備学習 時間外学習	授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。	
評価方法	1. 期末試験 (50 %) ※オンデマンド授業 2. 中間試験 (50 %) ※オンデマンド授業 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F(不合格)
受講生への メッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 英語を楽しむ学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。	
【使用教科書・教材・参考書】		

Evolve 2

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	国際教育Ⅱ (International Education Ⅱ) レベルC	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC講師
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部				2	曜日・時限	土曜日・1限
【授業の学習内容】 読解や文法などについてビデオ視聴、また練習問題に取り組みながらしっかりと学習する。 対面授業とオンデマンド授業のレッスンは同じ範囲となるので、対面授業前の予習や、授業後の復習に活用できる。オンデマンド授業は繰り返しビデオを見たり、問題に挑戦したりすることが出来るので、難しいところは振り返って学習し、しっかりと身に付けることができる。							
【到達目標】 リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。							

授業計画・内容			
1回目	4.1対面授業と連動 将来のことを説明する際に使う「現在進行形」を学ぶ 将来のプランについて話す		
2回目	4.2対面授業と連動 「目的語」の使い方を学ぶ		
3回目	4.3対面授業と連動 招待する、招待に応える表現を学ぶ 招待を断る理由を説明する		
4回目	4.4対面授業と連動 イベントへの招待を読む、書く		
5回目	5.1対面授業と連動 人生の中での過去のイベントについて話す 自分の意見を述べる；自分の気持ちを相手に伝える		
6回目	5.2対面授業と連動 「過去形」（陳述文の否定形；疑問文）を復習する		
7回目	5.3対面授業と連動 お祝いの言葉を学ぶ 人の気持ちを推察する表現を学ぶ		
8回目	5.4対面授業と連動 新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書く		
9回目	6.1対面授業と連動 [be going to]を復習する 買い物に行くことについて会話する		
10回目	6.2対面授業と連動 「限定詞」を学ぶ 買い物習慣について話す		
11回目	6.3対面授業と連動 店内で欲しいものについて述べる 物事の言い方を英語で聞く		
12回目	6.4対面授業と連動 新しい商品の説明を読む、Vlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書く		
13回目	U4-6の振り返り		
14回目	試験		
15回目	試験解説		
準備学習 時間外学習	授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。		
評価方法	1. 期末試験（50％）※オンデマンド授業 2. 中間試験（50％）※オンデマンド授業 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 英語を楽しむ学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。		
【使用教科書・教材・参考書】			
Evolve 2			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	ビジネススキル	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	熊崎 悦子
科目名 (英)	情報技術Ⅰ (Computer SkillⅠ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間 (Ⅰ・Ⅱ部)					曜日・時限	水曜・1限
【授業の学習内容】 一般的に普及している事務用のアプリケーション「Microsoft Office」の文書作成ソフトWordと表計算ソフトExcelの基本操作ができることは、仕事をする上で最低限求められるスキルです。 情報技術Ⅰでは、Wordの基本操作を覚え、ビジネス文書の作成、ポスターの作成ができる。また、Excelの基本操作を覚え、基本の関数を使った表の作成やグラフの作成ができる。 *実務経験: 専門学校にてWord、Excel、PowerPoint、ホームページ制作などのPCに関係する授業を約20年行う。就労移行支援事業所のPC講座を約9年行い継続中。また、Web関係のプログラミングを中心としたIT関連の業務を主に行っている。基本情報処理技術者、MOS(Excel365&2023)、工業高校教員2級を所持。							
【到達目標】 ○Word 基本操作を覚えることで、簡単なビジネス文書作成や図形、イラスト、写真などを使った視覚的な書類の作成（ポスターなど）ができる。 ○Excel 基本操作や基本関数を覚えることで、計算式の入った表やグラフを作成できる。							

授業計画・内容			
1回目	ITリテラシーを習得し、試験に合格できる。		
2回目	Word1 基本的な操作を覚えることができる。		
3回目	Word2 基本的な操作を覚え、簡単な通知状を作成できる。		
4回目	Word3 表を作成できる。		
5回目	Word4 画像、図形などの操作方法を覚え、視覚的な書類を作成できる。①		
6回目	Word5 画像、図形などの操作方法を覚え、視覚的な書類を作成できる。②		
7回目	Excel1 基本的な表を作成することができる。		
8回目	Excel2 基本的な表を作成することができる。		
9回目	Excel3 グラフの作成をすることができる。表とグラフを印刷することができる。		
10回目	Excel4 基本的な関数を習得し、使えることができる。①		
11回目	Excel5 基本的な関数を習得し、使えることができる。②		
12回目	Word6 これまで習得した範囲の練習問題を解くことができる。		
13回目	Excel6 これまで習得した範囲の練習問題を解くことができる。		
14回目	Wordで図形や画像の入った文書を作成することができ、Excelで表とグラフを作成することができる（期末試験）		
15回目	WordとExcelで習得した内容を作成することができる。		
準備学習 時間外学習	○タイピング練習 タイピング練習は自主的に1日10分でもいいので行ってください。タイピングが速くなると、入力が楽になり、編集作業が速くなります。 ○Word 基本的な操作を習得するためには、講義の復習が必要です。 ○Excel 基本的な操作を習得するためには、講義の復習が必要です。		
評価方法	1. 定期試験（80％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（20％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	○Word、Excelは授業内提出課題、授業態度、出席率と定期テストにて評価を行う。
受講生への メッセージ	情報技術Ⅰでは、WordとExcelの基本的な操作方法を中心に授業を進めます。「パソコンは嫌い」という人の大半は過去の「できない」経験をそのまま引きずっていることが多いです。しかし、パソコンは便利な道具です。その便利さをこの授業を通して少しでも理解してもらいたいと思っています。既に基本操作は知っている人は復習を行うと考えてもらえればと思います。		
【使用教科書・教材・参考書】			
○テキスト 30時間でマスター Word&Excel2021（実教出版） ○プリント			
○データ保存のための記録媒体 USBフラッシュメモリ			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	ビジネススキル	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	熊崎 悦子
科目名 (英)	情報技術Ⅱ (Computer skill Ⅱ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間 (Ⅰ部)			(単位)	2	曜日・時限	火曜日2限

【授業の学習内容】

一般的に普及している事務用のアプリケーション「Microsoft Office」のプレゼンテーションスライドソフトPowerPointの技術とプレゼンテーション技術の基礎は社会においても必要な知識となります。また、前期に引き続き、Excelも更なる向上のため行います。情報技術Ⅱでは、PowerPointの基本操作を覚え、プレゼンテーションスライドの作成および発表ができるようになります。Excelでは事務処理で使用する関数を覚え、その関数を使用して簡単な表の処理ができるようになります。

* 実務経験:

- ・専門学校にてWord、Excel、PowerPoint、ホームページ制作などのPCに関係する授業を約20年行う。
- ・就労移行支援事業所のPC講座を約9年行い継続中。
- ・ソフトウェア開発（使用言語：ExcelVBA、AccessVBA、PHPなど）
- ・資格）基本情報処理技術者、MOS Excel2019、工業高校教員2級を所持。

【到達目標】

- PowerPoint：基本操作を覚えることで、スライドを作成し、プレゼンテーションを行うことができる。
- Excel：事務処理で使用する関数を覚え、簡単な表の処理ができる。
- タイピング練習：タイピングの正確性とスピードを向上することができる。

授業計画・内容			
1回目	PowerPoint1 プレゼンのストーリー作成方法がわかる。スライド作成の基礎がわかる。		
2回目	PowerPoint2 プレゼンの方法がわかる。スライド作成の基礎がわかる。		
3回目	PowerPoint3 スライド作成の基礎がわかる。		
4回目	PowerPoint4 スライドの効果的な見せ方がわかる。スライド作成の基礎がわかる。		
5回目	Powerpoint5 発表用のスライドを作成することができる。		
6回目	Powerpoint6 発表用のスライドを作成することができる。		
7回目	Powerpoint7 発表用のスライドを作成することができる。		
8回目	Powerpoint8 発表用のスライドを作成することができる。		
9回目	Powerpoint9 完成したスライドを使って発表をすることができる。（中間試験）		
10回目	Excel1 SUM, AVERAGEなどの基礎的な関数を使って表を作成し、グラフを作ることができる。（前期の復習）		
11回目	Excel2 順位付け関数、IF関数の使い方がわかる。		
12回目	Excel3 別表参照関数（VLOOKUP関数）の使い方がわかる。		
13回目	Excel4 これまで習得した範囲の練習問題を解くことができる。		
14回目	Excel1～4で行った内容を使用して、表を作成することができる。（期末試験）		
15回目	解説 PowerPointによる発表の講評とExcelの試験結果について		
準備学習 時間外学習	○タイピング練習：自主的に1日10分でもいいので行ってください。タイピングが速くなると、入力が楽になり、編集作業が速くなります。 ○PowerPoint：プレゼンテーション発表のためのスライド準備時間が必要です。 ○Excel：事務処理用関数を習得するためには、講義の復習が必要です。		
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（50%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	○PowerPointはプレゼンテーション発表にて評価を行う。 ○Excelは定期テストにて評価を行う。
受講生への メッセージ	情報技術Ⅱでは、PowerPointを使用して、プレゼンスライドの作成方法と実際にプレゼン発表を行い、プレゼンテーションの意味を理解してもらいます。Excelは、情報技術Ⅰの続きで、事務処理でよく使われる関数を中心に習得をしてもらいます。		
【使用教科書・教材・参考書】 ○テキスト 30時間でマスターWord&Excel2019、30時間でマスタープレゼンテーション+PowerPoint2019 ○データ保存のための記録媒体 USBフラッシュメモリ			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	ホスピタリティⅠ (HospitalityⅠ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	三輪陽子 杉本佳史
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	プロスポーツAIトレーナーコース プロスポーツマネジメントコース			(単位)	2	曜日・時限	火曜日 3限
【授業の学習内容】 ホスピタリティは接客・接遇の場面だけで発揮されるものではなく、人と人、人とモノ、人と社会、人と自然などの関わりにおいて具現化されるものです。相互に創りあげることができ、それによって社会が豊かになっていくという大きな意味でもホスピタリティは重要です。ホスピタリティは一般的にはサービスを提供する企業と、それを受け取る顧客との領域で論じられることが多いですが、決してそれだけにとどまるものではありません。ホスピタリティを理解し、実践で役立てていくことを学んでいきます。							
【実務経験】 日本ホスピタリティ推進協会　ホスピタリティコーディネータ認定講師							
【到達目標】 ホスピタリティ（付加価値共創）は、サービス（等価値値交換）の上に乗っているものです。どの分野、社会においてもホスピタリティが必要であることを理解し、実際に使いこなす（習慣づける）ことを目標とします。							

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション（アソシエイト・ホスピタリティコーディネーター資格取得の説明） 認定講師紹介		
2回目	日常のホスピタリティ 立ち居振る舞い 面接場面のホスピタリティ		
3回目	社会生活でのホスピタリティ 電話対応、メールの書き方等		
4回目	言葉のホスピタリティ		
5回目	様々なバリアフリー シンボルマーク		
6回目	ホスピタリティの実践①		
7回目	ホスピタリティの実践②		
8回目	ホスピタリティの実践③		
9回目	ホスピタリティ実践レポート		
10回目	日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性 ・ホスピタリティの歴史と文化 【業界の変化を知る】		
11回目	サービスとホスピタリティの語源 ・ホスピタリティの定義 【ICTによる最新動向】		
12回目	ホスピタリティの5領域 組織と顧客のホスピタリティ 組織と社員のホスピタリティ		
13回目	世界のホスピタリティ		
14回目	アソシエイト・ホスピタリティ試験対策		
15回目	アソシエイト・ホスピタリティ試験		
準備学習 時間外学習	アソシエイト・ホスピタリティコーディネーター対策動画		
評価方法	1. 講義の出席 2. レポート 3. 資格試験	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	・ 講義への出席日数 ・ ホスピタリティ実践レポートの提出 ・ アソシエイトホスピタリティコーディネータ試験（80点以上） ※上記3つすべてをクリアして単位認定とする
受講生への メッセージ	ホスピタリティという知識と習慣を身に付けて日本だけでなく世界へ羽ばたく人材になりましょう！		
【使用教科書・教材・参考書】 ホスピタリティ・子ディネータ教本 オンデマンド動画			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	生理学	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松沢 恵美
科目名 (英)	基礎生理学 (Basic Physiology)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間（1部）					曜日・時限	木曜・3限
【授業の学習内容】							
生理学とはどのような学問・分野なのかを知ることが目的として授業を行い、その中でも各コースの資格取得を目指した基礎的な学習を行う。筋のエネルギー機構について、筋の収縮メカニズムについて、呼吸器系機能について、循環器系機能について、神経系について説明することができる知識を身につける。							
実務者経験：2003年に日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を取得。その後、ハンドボール、テニス、陸上競技を中心とした現場でコンディショニング、トレーニング指導を担当。テニスにおいてはプロ選手の専属もおこない、日本テニス協会主催の国際大会においてオフィシャルトレーナーを務める。							
【到達目標】							
身体の各種臓器の働きや構造を知り、生体の機能とメカニズムを理解することを目標とする。							

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション、生理学の基礎について説明することができる		
2回目	脳と神経について説明することができる①		
3回目	脳と神経について説明することができる②		
4回目	筋骨格系（骨）について説明することができる①		
5回目	筋骨格系（筋）について説明することができる②		
6回目	消化器について説明することができる①		
7回目	消化器について説明することができる②		
8回目	呼吸器について説明することができる①		
9回目	呼吸器について説明することができる②		
10回目	循環器について説明することができる①		
11回目	循環器について説明することができる②		
12回目	性差・遺伝について知り、説明ができる		
13回目	総復習		
14回目	定期試験		
15回目	試験解説		
準備学習 時間外学習	授業中の板書及び、配布したプリントや資料で復習をするようにしてください。		
評価方法	1. 定期試験（80％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（20％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	身体について学んでいくうえでの土台になります。人体の構造を理解して、身体に起こる変化をきちんと理解ができるように学んでいきましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】 日本スポーツ協会 リファレンスブック 健康運動実践指導者 テキスト			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	解剖学	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	小杉 峻
科目名 (英)	基礎解剖学 (Basic Anatomy)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間 (Ⅰ・Ⅱ部)			(単位)	(2)	曜日・時限	金曜・5限
【授業の学習内容】 解剖学は身体の構造や仕組みを学ぶ学問である。運動器の機能評価や動きの実践にも正しい解剖学的知識は不可欠である。 基礎解剖学では、骨・関節・筋肉の構造を理解し、機能へとつなげていく。運動器の解剖学を理解することで、トレーニング、テーピング、コンディショニング指導などを実施できるようにしていく。 *実務経験: 2014年に理学療法士の資格を取得し、2023年には保健医療学修士号取得。整形外科クリニックや大学病院での勤務を経験。学術面では国内外ジャーナルへの論文執筆、スポーツ現場では日本陸上競技連盟トレーナー部所属、フィールドホッケーの実業団チームやクラブチームのトレーナーとしてコンディショニング、リハビリテーション、トレーニングを行う。							
【到達目標】 骨・関節・筋の基本構造と、それぞれの位置の・名称・特徴を中心に運動器の基礎知識を習得する。また、身体構造に興味を持ち、必要な知識を身に着けることで、正しい実技を行えるようにしていく。							

授業計画・内容			
1回目	身体の仕組みの全体像や運動器について理解し、説明できる		
2回目	全身の名称や姿勢表現などを理解し、説明できる		
3回目	骨の名称・構造を理解し、説明できる		
4回目	骨の種類・形状などを理解し、説明できる		
5回目	関節の名称・構造を理解し、説明できる		
6回目	関節の種類・機能を理解し、説明できる		
7回目	確認テスト		
8回目	筋の種類・構造を理解し、説明できる		
9回目	筋の役割・機能を理解し、説明できる		
10回目	関節の動きを理解し、説明できる		
11回目	運動器全体の構造を理解し、説明できる		
12回目	運動器全体の機能を理解し、説明できる		
13回目	まとめ		
14回目	定期試験		
15回目	解説		
準備学習 時間外学習	骨・関節・筋の名称とその位置関係を正確に覚えるために、教科書に記される正しい漢字の名称や読み方、形状を見ながら復習をする。		
評価方法	1. 定期試験（60％） 2. 小テスト（40％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	基礎解剖は身体を扱う為の基礎知識となり、専門科目につなげるための知識となります。基礎をしっかりと学ぶことで、応用の幅が広がります。運動指導を行う際、正しい知識をわかりやすい言葉で伝えていけるよう、積極的に学んでいきましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】			
プロが教える骨と関節のしくみ・はたらきパーフェクト事典			
プロが教える筋肉のしくみ・はたらきパーフェクト事典			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	解剖学	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	北村 悠香
科目名 (英)	機能的解剖学Ⅰ (Functional anatomyⅠ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	2	曜日・時限	火曜日・2限
【授業の学習内容】							
選手やクライアントの方に指導等を行う際には、正しい解剖学的知識をもって行う必要がある。基礎解剖の内容から更に各関節の構造や、動きへの理解を深め説明できるように学んでいく。							
* 実務経験:							
2009年,日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーを取得。2009年～現在、中部大学春日丘高等学校ラグビー部にてトレーナーとしてコンディショニング指導やりコンディショニングを行う。また、スポーツ整形外科にてアスリートへのスポーツ復帰のリハビリテーション補助を行い、現在はデイクアセンターにて介護予防の運動指導を行っている。							
【到達目標】							
体幹の骨・筋について説明することができる。							
各関節構造と働きについて説明することができる。							
授業計画・内容							
1回目	オリエンテーション						
2回目	体幹の構造について説明できる						
3回目	下肢の関節構造(股関節)について説明できる						
4回目	下肢の関節構造(膝関節)について説明できる						
5回目	下肢の関節構造(足関節)について説明できる						
6回目	下肢の関節構造(足部)について説明できる						
7回目	確認テスト						
8回目	上肢の関節構造(肩関節)について説明できる						
9回目	上肢の関節構造(肩関節)について説明できる						
10回目	上肢の関節構造(肘関節)について説明できる						
11回目	上肢の関節構造(手・手関節)について説明できる						
12回目	全身の関節運動について説明できる						
13回目	まとめ						
14回目	定期試験						
15回目	試験開設						
準備学習 時間外学習	基礎解剖で学んだ内容を復習し、授業準備をしておく。復習では骨や関節構造の絵を描いたり、実際に触れたり動かしながら学んでいく。						
評価方法	1. 定期試験 (60%) 2. 確認テスト (40%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	トレーニング指導を適切に行うためには、解剖学的知識が必要不可欠です。また、解剖学的知識を深めることで個人に適したトレーニングを考え、指導を行うことが出来ます。毎日の勉強を積み重ね、正しい知識を身につけていってください。						
【使用教科書・教材・参考書】							
プロが教える骨と関節のしくみ・はたらきパーフェクト辞典、プロが教える筋肉のしくみ・はたらきパーフェクト辞典							

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	運動学	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	福田 翼
科目名 (英)	基礎運動学 (Basic Kinematics)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間(Ⅰ部)			(単位)	(2)	曜日・時限	金曜・2限
【授業の学習内容】 筋肉の名称・形状・働きや、運動中の姿勢・体幹・呼吸についても学習する。 これらを基礎的な運動やレジスタンストレーニングのエクササイズを通して学んでいく。 実務者経験：2017年よりアスレティックトレーナーとして、トライアスロン選手や社会人フットサルチームなどのサポートを行う。また、アスリートのトレーニング指導を行うパーソナルトレーナーとしても活動している。選手の怪我の応急処置や予防・再発予防のためのコンディショニング、テーピングなどを行っている。							
【到達目標】 筋の働きや動きなどを運動へリンクさせて考えることができるようにする。運動・とレーニングの動きを理解する。それらの理解を深め、トレーニングを安全で効果的に行えるようにする。							
授業計画・内容							
1回目	ガイダンス・筋骨格系の名称とその形状を学び説明ができる						
2回目	筋の働きと役割について説明ができる						
3回目	筋収縮様式の特徴とレジスタンストレーニングにおける適応について理解し説明ができる						
4回目	レジスタンストレーニングにおけるモーメントアーム・トルク・てこを説明ができる						
5回目	力学的パワーと運動量転移について理解し説明ができる						
6回目	姿勢支持と体幹・動作中の呼吸を理解し説明ができる						
7回目	レジスタンストレーニングにおける適応とメカニズムを理解し説明ができる						
8回目	中間試験・解説						
9回目	歩行動作の分析ができ、説明ができる						
10回目	走行動作の分析ができ、説明ができる						
11回目	跳躍動作・投げる動作の分析ができ、説明ができる						
12回目	トレーニング器具の種類と負荷効果の違いを説明できる						
13回目	まとめ・試験対策						
14回目	定期試験						
15回目	試験解説						
準備学習 時間外学習	筋の名称や関節の種類など、基礎的な解剖学の理解						
評価方法	1. 中間試験(30%) 2. 定期試験(70%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格					
受講生への メッセージ	トレーニングやトレーニング指導を実施する際、運動学を理解して行うことで安全で効果的なトレーニングが可能になります。他科目と併せて理解を深めて下さい。						
【使用教科書・教材・参考書】 NSCA ジャパン NSCA/パーソナルトレーナーのための基礎知識 「ストレングストレーニング＆コンディショニング」							

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	栄養学	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	種村 見名子
科目名 (英)	基礎栄養学 (Basic Nutrition)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	昼間 (Ⅰ・Ⅱ部)					曜日・時限	金曜・3限

【授業の学習内容】

すべての人の健康保持・増進、スポーツ選手のコンディショニングにおいて土台となる"栄養摂取の基礎知識"を学び、自分自身も食に対する意識を高め、現場でのアドバイスに活かせるような知識の習得をねらいとする。

*実務経験:

2005年より学校給食、病院、行政で乳幼児栄養相談、特定保健指導、病態別栄養指導に従事。こども食堂の運営や食育教室を開催する傍ら、2014年からフットサルチーム、卓球選手、バレーボール選手、大学生ラグビーチームの栄養サポートに携わる。パーソナルジムでの栄養指導も経験し、2023年に公認スポーツ栄養士を取得。

【到達目標】

食べ物に含まれる"5大栄養素の体内での働き"について理解する。毎日の食事において、組み合わせ・量・タイミングをどのように工夫すれば、健康でより良いコンディショニングづくりができるか、自分の食事と照らし合わせて習得する。グループワークを行い、考え方の共有やケース別の問題点と改善方法について学ぶ。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション
2回目	食物の消化吸収とバランスの良い食事の重要性について習得する
3回目	自分に必要なエネルギー量と糖質について習得する
4回目	たんぱく質の働きについて習得する
5回目	たんぱく質の働きとプロテインパウダーについて習得する
6回目	脂質の働きについて習得する
7回目	ビタミンの働きについて習得する
8回目	ミネラルの働きについて習得する
9回目	水分の働きと熱中症予防について習得する
10回目	年代別、生活環境別の食環境についてグループワークで話し合う
11回目	グループ発表・考えの共有を行い、自分たちの傾向を認識する
12回目	媒体作成
13回目	媒体発表、まとめ・復習
14回目	定期試験
15回目	試験解説

準備学習 時間外学習

食に興味をもつこと
学んだところの資料を読み深めること
知識を実践に結びつけるために、食事が自分の体にどう影響するのか観察してみる

評価方法

1. 定期試験 (90%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
2. 小テスト (%)	
3. レポート (%)	
4. 課題成果 (10%)	
5. 実地試験 (%)	

受講生への メッセージ

健康な身体も、より高いパフォーマンスも毎日の食事が支えています。
習得した知識をどう活かせるか、どう伝えるか考えながら学びを深めましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

JSCO Reference Book,日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト9 スポーツと栄養

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	指導者論	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大西 城太郎
科目名 (英)	スポーツ指導論 (Sports Leader Introduction)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間 (Ⅰ・Ⅱ部)					曜日・時限	火曜・2限

【授業の学習内容】

1. 指導者に必要なスキルや知識を習得する（コーチング）
2. 安全対策についての知識を習得する（熱中症、落雷、アンチ・ドーピング）
3. 指導者の立ち振る舞いについての知識を習得する（体罰、ハラスメント、コンプライアンス）

* 実務経験:

1999年～現在に至るまで様々な年代の人に対して水泳、アクアビクス、ストレッチ、筋力トレーニングなどの指導を実施。また、2006年～関西男子ラクロス選抜、ユースでもトレーナーとしてチーム帯同、2007年～2023年まで立命館大学男子ラクロス部で、2024年からは京都産業大学男子ラクロス部でトレーナーとして活動している。2023年から京都のクリニックで非常勤としてメディカルフィットネスでも指導を行っている。

【到達目標】

スポーツ指導に必要な知識を習得し、習得した知識を現場で生かし、スポーツに関わる人たちが安全で楽しくスポーツできるような指導ができる指導者になれるようになることを目標とする。

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーションと理想の指導者について説明できるようになる		
2回目	コーチングによって育成したい選手像について説明できるようになる		
3回目	コーチングをどのように活用するかについて説明できるようになる		
4回目	コーチ（指導者）の役割について説明できるようになる		
5回目	安全管理と熱中症対策について説明できるようになる		
6回目	落雷への対応について説明できるようになる		
7回目	コミュニケーションスキル（対他者力）について説明できるようになる		
8回目	コミュニケーションスキル（対自己力）について説明できるようになる		
9回目	スポーツが持つ社会的意味や価値について説明できるようになる		
10回目	ガバナンスとコンプライアンスについて説明できるようになる		
11回目	体罰とハラスメントについて説明できるようになる		
12回目	インテグリティとアンチ・ドーピングについて説明できるようになる		
13回目	指導計画について説明できるようになる		
14回目	定期試験		
15回目	試験解説		
準備学習 時間外学習	基本的には事前にテキストを読み、内容を理解しておくこと。授業で学習したことを実際の現場で実践し、反省し、修正し、自分自身のスキルとして身につけていくことが重要だと考える。		
評価方法	1. 定期試験（70％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（30％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	スポーツを楽しく感じるかどうかは皆さんの指導にかかっています！授業を通して学んだことを現場で生かし、スポーツの楽しさを伝えられる指導者になってください。		
【使用教科書・教材・参考書】『Refernce Book』（公益財団法人 日本スポーツ協会）／プリント配布			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	基礎医学	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	井澤 秀野
科目名 (英)	スポーツ医学概論 (Sports Medicine Introduction)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ・Ⅱ部）					曜日・時限	月曜・4限

【授業の学習内容】

スポーツ医学各論の基礎となる科目として、アスレティックトレーナーが身に付けるべきスポーツ医学に関わる基本的な知識を習得し理解を深める事を目的とする

* 実務経験:

2005年～2013年ヤマハ発動機ラグビー部トレーナー、2013年～現在 東海大学附属相模高等学校ラグビー部トレーナー、2015年～2016年 IBM BIG BLUEアメリカンフットボール部トレーナー、2015年～2016年 セブンズラグビー日本代表トレーナー、2017年 栗田工業ラグビー部トレーナー、2018年～現在 富士通アメリカンフットボール部トレーナーを行う。各チームにおいて、外傷発生時の応急処置、及び、選手のコンディショニング、リハビリテーションに携わる

【到達目標】

スポーツ医学に関する知識を深める、獲得したスポーツ医学の知識を実際のフィールド及び運動指導の場面で実践・指導に活用する。具体的にはスポーツ活動中に発生する怪我や病気（内科・外科）の特徴とその適切な対応及び予防を理解する。性別、年齢の違いで生じるスポーツ外傷・障害の特徴とその適切な対応及び予防法を理解する。

授業計画・内容			
1回目	ガイダンス・スポーツ医学総論（スポーツ医学の範囲と学びについて理解し説明できる）		
2回目	スポーツと健康（健康の定義・スポーツの効果について説明できる）		
3回目	スポーツ活動中に多い怪我や病気（熱中症の定義・原因・症状・対応・予防法を説明できる）		
4回目	スポーツ活動中に多い怪我や病気（突然死の定義・原因・症状・対応・予防法を説明できる）		
5回目	スポーツ活動中に多い怪我や病気（オーバートレーニング症候群の定義・原因・症状・対応・予防法を説明できる）		
6回目	スポーツ活動中に多い怪我や病気（運動性貧血の定義・原因・症状・対応・予防法を説明できる）		
7回目	スポーツ活動中に多い怪我や病気（多い怪我の種類、特に年齢別、種目別の特徴を説明できる）		
8回目	発育発達期に多い怪我や病気（発育発達期の身体の特徴を理解し発生しやすい怪我や病気を説明出来る）		
9回目	救急処置・応急処置（一次救命処置の手順、RICE処置について方法、注意点を理解し説明出来る）		
10回目	スポーツ活動と安全管理（スポーツにおける安全確保について理解し説明できる）		
11回目	スポーツと健康管理（アスリートの健康管理体制、メディカルチェックの方法、項目、データ活用について理解し説明できる）		
12回目	スポーツと健康管理（ドーピング防止活動、ドーピングコントロールについて理解し説明できる）		
13回目	特殊環境下での対応（暑熱対策、低温対策、高地対策、時差対策、感染症対策について理解し説明できる）		
14回目	定期試験		
15回目	試験解説		
準備学習 時間外学習	・この授業を受けるには、スポーツ医学についての理解が必要です。アスリートに関するスポーツ医学の予習が必要です。 ・スポーツ医学についての確認テストを行いますので、講義の復習が必要です。		
評価方法	1. 定期試験（100％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	定期試験（100％）で評価をします。
受講生への メッセージ	スポーツに関わる者には幅広い知識が要求される。スポーツ医学では、疾患の発症メカニズムや病態、実践に則した予防法について習得し理解、応用が出来るようになりますよう		
【使用教科書・教材・参考書】			
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門テキスト4巻 「健康管理とスポーツ医学」			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	基礎医学	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	井澤 秀野
科目名 (英)	スポーツ医学Ⅱ (sports medicineⅡ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	2	曜日・時間	月曜日・3限
【授業の学習内容】							
既にある運動器障害の悪化を防止し、新たな障害を惹起しないように、運動器の生理的機能を上肢・体幹・下肢それぞれの代表的な関節ごとに理解する。さらに外科疾患の発症メカニズムや病態、実践に即した予防法について習得する 実務者経験：2005年～2013年 ヤマハ発動機ラグビー部トレーナー・2013年～現在 東海大学附属相模高等学校ラグビー部トレーナー・2015年～2016年 IBM BIG BLUE アメリカンフットボール部トレーナー・2015年～2016年 セブンスラグビー日本代表トレーナー・2017年 栗田工業ラグビー部トレーナー・2018年～現在 富士通アメリカンフットボール部トレーナー							
【到達目標】							
スポーツ医学に関する知識を深める、獲得したスポーツ医学の知識を実際のフィールド及び運動指導の場面で実践・指導に活用する。具体的にはスポーツ活動中にスポーツ指導者として必要なスポーツ医学（外科科系）に関する基礎知識を理解できる 運動器障害の悪化を予防する知識と指導力を身につけることができる。健康的なスポーツ活動を行う為に必要なアスレティックトレーニング、アスレティックコンディショニングの理解を深める							
授業計画・内容							
1回目	足関節の外傷・傷害を理解し説明出来る						
2回目	下腿部の外傷・傷害を理解し説明出来る						
3回目	膝関節の外傷・傷害を理解し説明出来る						
4回目	大腿部の外傷・傷害を理解し説明出来る						
5回目	股関節・骨盤の外傷・傷害を理解し説明出来る						
6回目	頸部の外傷・傷害を理解し説明出来る						
7回目	胸部の外傷・傷害を理解し説明出来る						
8回目	腰部の外傷・傷害を理解し説明出来る						
9回目	肩関節の外傷・傷害を理解し説明出来る						
10回目	上腕の外傷・傷害を理解し説明出来る						
11回目	肘関節の外傷・傷害を理解し説明出来る						
12回目	前腕・手関節の外傷・傷害を理解し説明出来る						
13回目	手・手指の外傷・傷害を理解し説明出来る						
14回目	定期試験						
15回目	試験返却・解説						
準備学習 時間外学習	(目標①) 前提：この授業を受けるには、スポーツ医学（外科系）の基礎知識理解が不可欠です。さらに解剖学について予習が必要です。 (目標③) スポーツ医学についての確認テストを行いますので、講義の復習が必要です。						
評価方法	1. 定期試験（80％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（20％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	スポーツ指導者として必要なスポーツ医学（外科科系）に関する基礎知識を理解できるようになります 運動器外傷・障害の発生機序・応急処置、救急処置、予防する知識と指導力を身につけましょう						
【使用教科書・教材・参考書】							
AT専門テキスト③「スポーツ外傷・障害の基礎知識」							

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	エクササイズ基礎	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	井戸田 修一
科目名 (英)	レジスタンストレーニングⅠ (Resistance TrainingⅠ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ・Ⅱ部）					曜日・時限	水曜・1限

【授業の学習内容】

前期は、トレーニング器具の名称、使用方法を習得し、また基礎となるトレーニングの種類・方法・効果を中心に習得します。

実務者経験：大学卒業後、スポーツクラブで約12年勤務。自分自身の現場の中で培った接客等のスキルはもちろん、店長としての現場マネジメントを通して、店舗運営や人材育成等多岐に渡り担当。スタジオレッスンも多数担当。過去1レッスン内にて120名近くの集客実績もあり。

【到達目標】

上肢・下肢のトレーニング・自体重トレーニング・パワーエクササイズの種類・方法・効果を中心に習得し、自身が実演・指導・効果の説明が行えるようになること。

クライアントによる様々なニーズに応じたトレーニングを提供できるようになること

授業計画・内容

1回目	トレーニング器具の名称・使い方について説明することができる。
2回目	上肢のトレーニングについて説明することができる①
3回目	上肢のトレーニングについて説明することができる②
4回目	上肢のトレーニングについて説明することができる③
5回目	上肢のトレーニングについて説明することができる④
6回目	下肢のトレーニングについて説明することができる①
7回目	下肢のトレーニングについて説明することができる②
8回目	下肢のトレーニングについて説明することができる③
9回目	下肢のトレーニングについて説明することができる④
10回目	コアトレーニングについて説明することができる①
11回目	コアトレーニングについて説明することができる②
12回目	コアトレーニングについて説明することができる③
13回目	まとめ
14回目	定期試験
15回目	試験解説

準備學習
時間外學習

目標①前提：この授業を受けるには、筋肉の名称・起始・停止・作用等、解剖学の理解が不可欠です。解剖学の予習が必要です。

評価方法

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 定期試験 (100%) | 評価方法はGPA制度となります |
| 2. 小テスト (%) | 100～90点 S |
| 3. レポート (%) | 89～80点 A |
| 4. 課題成果 (%) | 79～70点 B |
| 5. 実地試験 (%) | 69～60点 C |
| | 59点以下 F 不合格 |

定期試験で評価を行います。

受講生への
メッセージ

クライアントのニーズに応じたトレーニングが行えるようになる為にも、より多くのトレーニングを学んでいくとともに、実際に自らがトレーニングを体験し、色んなことに気づき感じていくことが大切です。

正しいトレーニングを指導するためにも、まず自らがトレーニングを行っていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	エクササイズ基礎	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	伊藤 ひとみ
科目名 (英)	エアロビックダンス (Aerobic Dance)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間 (I 部)					曜日・時限	木曜・4限
【授業の学習内容】 エアロビックダンスを通じて、グループエクササイズの担う役割と効果を学びます。 <							

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション		
2回目	エアロビックダンスの歴史・効果・特性を理解し、説明できる		
3回目	エアロビックダンスの歴史・効果・特性を理解し、説明できる		
4回目	基本ステップを理解し、説明できる		
5回目	指導スキルを理解し、説明できる		
6回目	ウォームアップを理解し、説明できる		
7回目	クールダウンを理解し、説明できる		
8回目	キューイングを理解し、説明できる		
9回目	指導練習を通してキューイングを理解し、説明できる		
10回目	シンメトリー法を理解し、説明ができる		
11回目	資格取得に必要なスキルを理解し、説明ができる		
12回目	復習・試験対策		
13回目	試験対策		
14回目	定期試験		
15回目	試験解説		
準備学習 時間外学習	まずは、授業の中でエアロビクスを体験し、興味を持ってもらえたら、 スポーツクラブ等でさらに経験するのも良いと思います。 好きな音楽を聴き、フレーズを理解するのも学びに繋がります。		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	授業態度(20%) 出席状況(20%) 定期試験(60%)
受講生への メッセージ	一年生の前期では、全員がエアロビックダンスを学びます。 この授業では、資格取得（健康運動実践指導者）にも繋がる内容となっています。 グループフィットネスの魅力を伝えます。一緒に汗を流しましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】			
健康・体力づくり事業財団 健康運動実践指導者養成用テキスト			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	エクササイズ基礎	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	鈴木 久美子
科目名 (英)	アクアビクス (Aquabics)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間 (Ⅰ・Ⅱ部)					曜日・時限	月曜・2限
【授業の学習内容】 実際の現場では、様々な環境があり（プール環境、時間帯、対象者、プログラム内容など）より多くのニーズに対応出来る事が望めます。現在行われている水中運動（アクアビクス、アクアウォーキング、レジスタンスプログラム、リラクゼーション）や水中という環境を体感し、水の特性を理解してプログラミングや実技指導に繋がります。 *実務経験: 2005年アクアエクササイズインストラクター資格取得、2019年アクアエクササイズ国内総会講師。 現在、愛知県内11カ所週17本を担当している。 全米アクアエクササイズ協会認定・全米アクアセラピー＆リハビリ協会認定者。							
【到達目標】 水中運動にはどのようなプログラムがあるのか、その目的や効果、どの様な対象者に適しているのか説明ができる。 水の特性を活かして「アクアウォーキング」を実際にプログラミングし指導出来る。							

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション		
2回目	講義・アクアエクササイズの目的、水の特性を理解できる/水中のデモンストレーション練習①		
3回目	講義・アクアエクササイズの目的、水の特性を理解できる/水中のデモンストレーション練習①		
4回目	実技・対象者や目的別のアクアプログラムを体感し実習できる①（アクアビクス・レジスタンス・リラクゼーション）		
5回目	実技・対象者や目的別のアクアプログラムを体感し実習できる①（アクアビクス・レジスタンス・リラクゼーション）		
6回目	講義・アクアウォーキングの目的、補講の種類を説明できる/実技・アクアプログラムを体感し実習できる②		
7回目	講義・アクアウォーキングの目的、補講の種類を説明できる/実技・アクアプログラムを体感し実習できる②		
8回目	講義・アクアウォーキングのプログラミングと指導法を説明できる/実技・アクアウォーキングを体感し実習できる		
9回目	講義・アクアウォーキングのプログラミングと指導法を説明できる/実技・アクアウォーキングを体感し実習できる		
10回目	試験課題対策①/実技指導を習得する		
11回目	試験課題対策①/実技指導を習得する		
12回目	試験課題最終説明/試験課題対策②		
13回目	試験課題最終説明/試験課題対策②		
14回目	定期試験（アクアウォーキングの実技指導が出来る）/定期試験評価		
15回目	定期試験（アクアウォーキングの実技指導が出来る）/定期試験評価		
準備学習 時間外学習	授業の最初に前回の振り返りを行います。課題の提出も多いので、必ず各自で復習や取り組みを行いましょう。		
評価方法	1. 定期試験（％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	定期試験（60％）/課題試験（20％）/出席授業態度（20％）で評価します
受講生への メッセージ	どんな場面においても第一印象は、とても大切です。あいさつは明るく元気よく行いましょう。 遅刻や忘れ物も厳禁です。施設利用にも感謝を忘れず、お互いに気持ち良く授業を進めていきましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】			
健康運動実践指導テキスト・筆記用具・水着・キャップ・タオル			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	コンディショニング	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	福田 翼
科目名 (英)	テーピング基礎 (Taping Basic)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー 科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間(Ⅰ・Ⅱ部)			(単位)	(2)	曜日・時限	金曜・4限
【授業の学習内容】 選手やクライアントの方に発生する、各外傷や障害に対してテーピングを的確に行う必要がある。 各外傷・障害についてや、その部位の解剖学的知識を習得したうえで、テーピングを実施する。 本授業修了時には各外傷や障害、その部位についての知識、併せてテーピングを正確に実施するための基礎となる 技術を習得できる。							
実務者経験：2017年よりアスレティックトレーナーとして、トライアスロン選手や社会人フットサルチームなどのサポート を行う。また、アスリートのトレーニング指導を行うパーソナルトレーナーとしても活動している。選手の怪我の応急処置 や予防・再発予防のためのコンディショニング、テーピングなどを行っている。							
【到達目標】 各外傷・障害についての知識や、解剖学的知識を習得する。 そして、選手やクライアントの方にただテーピングを実施するだけではなく、使用するテープの目的、各手順ごとのテー ピングの目的までを正確に説明できる。							

授業計画・内容			
1回目	ガイダンスを行う　テーピングの概要について説明ができる		
2回目	足関節内反捻挫（基本）のテーピングを実施し、習得する		
3回目	足関節内反捻挫（OPEN/CLOSE）のテーピングを実施し、習得する		
4回目	足関節内反捻挫　伸縮テープを用いたテーピングを実施し、習得する		
5回目	足部アーチのテーピングを実施し、習得する		
6回目	足関節内反捻挫（基本）のテーピングの演習を行い、実践することができる		
7回目	中間試験（実技）		
8回目	足関節背屈制限のテーピングを実施し、習得する		
9回目	足関節底屈制限のテーピングを実施し、習得する		
10回目	膝前十字靱帯損傷に対してのテーピングを実施し、習得する		
11回目	膝内側側副靱帯損傷に対するテーピングを実施し、習得する		
12回目	膝関節のテーピングの演習を行い、実践することができる		
13回目	実技試験		
14回目	筆記試験		
15回目	試験解説		
準備学習 時間外学習	テーピングを実施するにあたり、その部位に対しての解剖学的知識や起こりうる外傷・傷害に対しての知識が必要です。 本授業で行うテーピング部位は、足部・足関節、膝関節が主となりますので、各部位の解剖学、外傷・傷害についての予習が必要です。 実技試験2回、筆記試験1回を行いますので、復習が必要です。		
評価方法	1. 中間試験（25%） 2. 実技試験（25%） 3. 筆記試験（50%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	中間試験（実技25%） 期末試験（実技25%・筆記50%）で評価をします。
受講生への メッセージ	トレーナーはもちろん、インストラクターやビジネス部門で現場に出るにあたって、様々な怪我に遭遇することが想定されます。 そこで、本授業でのテーピングの知識は必ず生きてくるものだと思います。身体や怪我についてしっかりと知識を持ち、それと併せて正確なテーピングの技術を習得しましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】 日本スポーツ協会公認　アスレティックトレーナーテキスト第6巻　【予防とコンディショニング】			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	英会話		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC 講師
科目名 (英)	英会話ⅠA (English ConversationⅠA) レベルB							
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	昼間 (Ⅰ部)						曜日・時限	月曜日5限/木曜日5限
【授業の学習内容】								
主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場 面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。								
【到達目標】								
日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることがで きる。								
授業計画・内容								
1回目	1.1 [WH-question]を使い、相手の性格について話す			16回目	4.1 [be going to/will]を使い、将来のことについて話す 個人的な意見を述べ、計画を立てる表現を学ぶ			
2回目	1.2 「間接疑問文」を学ぶ 相手に質問をする、また質問に答える			17回目	4.2 旅行の計画を立てる 「現在進行形」を使い、将来のプランについて話す [will]を使い、突然の決定について話す			
3回目	1.3 自己紹介をし、知り合いになる 会話の中、第三者を紹介する			18回目	4.3 難しい状況において、相手を安心させる、またそれに答える 表現を学ぶ			
4回目	1.4 段落を認識する 親戚へのメールを読む、書く			19回目	4.4対面授業と運動 イベントへの招待を読む、書く4.4 イベント内容、スケジュールが書いてあるメールを読む、ま た書く			
5回目	1.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「良い リーダーになるには何が必要かをディスカッションし、自分の 考えを発表する」 ・前期発表と連動する内容			20回目	4.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「さまざまな人に異なるアクティビティをアサインする」 ・前期発表と連動する内容			
6回目	2.1 「現在完了形」を復習する 自分の持ち物について述べる			21回目	5.1 「単純過去形」を使い、ものを失くす/見つける場面におい て、会話する			
7回目	2.2 「現在完了形」の文の中の[already/yet]の使い方を学ぶ 自分の持ち物について述べる2			22回目	5.2 「単純過去形」、「過去進行形」を学ぶ、復習する 人を助ける、人に助けを求める場面において、会話する			
8回目	2.3 話題を変える表現を学ぶ 短い質問文を使い、関心を示す			23回目	5.3 驚いたできごとについて話す 言葉をかえて、驚きを表す			
9回目	2.4 ネット広告を読む、書く			24回目	5.4 簡単な物語を読む、書く			
10回目	2.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「出かける時の持ち物についてディスカッションをする」 ・前期発表と連動する内容			25回目	5.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「おも しろい、驚くストーリーを作り、発表する」 ・前期発表と連動する内容			
11回目	3.1 「冠詞」を学ぶ 自分の町について話す			26回目	6.1 「数量詞」を学ぶ 都会の問題について話す			
12回目	3.2 「助動詞」を学ぶ			27回目	6.2 「現在・未来の条件文」を学ぶ 問題と解決策について話す			
13回目	U1-3の振り返り			28回目	6.3 [though]を使い、反対意見を述べる 様々な状況での心配、また安心を表現する			
14回目	3.4 求職申し込みを読み、申込書を書く			29回目	6.4 価値観についてのネット投稿を読む、書く			
15回目	3.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町の人気な場所についてプレゼンをする」 ・前期発表と連動する内容3.5			30回目	6.5 Time to Speak：前期発表			
準備学習 時間外学習	授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。							
評価方法	1. 期末試験 (50 %) ※オンデマンド授業 2. 中間試験 (50 %) ※オンデマンド授業 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)		評価方法はGPA制度となります 1.00～9.0点 S 8.9～8.0点 A 7.9～7.0点 B 6.9～6.0点 C 5.9点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。							
【使用教科書・教材・参考書】								
Evolve 3								

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	英会話		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC 講師
科目名 (英)	英会話ⅠA (English ConversationⅠA) レベルC							
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科							
コース	昼間(Ⅰ部)							
【授業の学習内容】								
主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、英語講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。								
【到達目標】								
リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。								
授業計画・内容								
1回目	1.1 所有形容詞を学ぶ 知人・家族について話す			16回目	4.1 将来のことを説明する際に使う「現在進行形」を学ぶ			
2回目	1.2 所有代名詞(whose)を学ぶ			17回目	4.2 「目的語」の使い方を学ぶ 贈り物について話す			
3回目	1.3 話の切り出し方を学ぶ 会話を始める表現を学ぶ 驚きの気持ちを表す表現及び関心を示す表現を学ぶ			18回目	4.3 招待する、招待に応える表現を学ぶ 招待を断る理由を説明する			
4回目	1.4 自己紹介をする 職場でのフォーマルなメールを読む、書く			19回目	4.4 イベントへの招待を読む、書く			
5回目	1.5 ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「人と共通していることについて話す」 ・前期発表と連動する内容			20回目	4.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「プレゼントを選ぶについて」 ・前期発表と連動する内容			
6回目	2.1 習慣・ルーティンについて質問する [Wh-question]を練習する			21回目	5.1 人生の中での過去のイベントについて話す 自分の意見を述べる；自分の気持ちを相手に伝える			
7回目	2.2 名詞の代わりの[this, that, these, those]の使い方を学ぶ 職場について話す			22回目	5.2 「過去形」(陳述文の否定形；疑問文)を復習する			
8回目	2.3			23回目	5.3			
9回目	2.4 ポッドキャストについての意見を読む、書く			24回目	5.4 新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書く			
10回目	2.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「仕事や勉強のためのアプリについて発表する」 ・前期発表と連動する内容。			25回目	5.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「過去の有名な出来事をまとめる」 ・前期発表と連動する内容			
11回目	3.1 「現在進行形」を学ぶ・復習する 今していることについて話す			26回目	6.1 [be going to]を復習する 買い物に行くことについて会話する			
12回目	3.2 「現在進行形」「単純現在形」を練習する スポーツ、運動について話す			27回目	6.2 「限定詞」を学ぶ 買い物習慣について話す			
13回目	3.3 情報を得るため、必要な表現を学ぶ 知らない情報をチェックする			28回目	6.3 店内で欲しいものについて述べる 物事の言い方を英語で聞く			
14回目	3.4 サービス業界の会社へのメッセージを読む、書く			29回目	6.4 新しい商品の説明を読む、Vlog(ビデオブログ)のためのスクリプトを書く			
15回目	3.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「フィットネスプログラムを作る、発表する」 ・前期発表と連動する内容			30回目	6.5 Time to Speak：前期発表			
準備学習 時間外学習	授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。							
評価方法	1. 期末試験(50%)※オンデマンド 2. 中間試験(50%)※オンデマンド 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)		評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。							
【使用教科書・教材・参考書】								
Evolve 2								

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	英会話ⅠB (English ConversationⅠB)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC 講師
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	4	曜日・時限	月曜日5限/木曜日5限
【授業の学習内容】							
主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場 面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。							
【到達目標】							
日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることがで きる。							
授業計画・内容							
1回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit7 Eat,drink,be happy①		16回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit7 Entertain us①			
2回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit7 Eat,drink,be happy②		17回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit7 Entertain us②			
3回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit8 Trips①		18回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit8 Getting there①			
4回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit8 Trips②		19回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit8 Getting there②			
5回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit9 Looking good①		20回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit9 Make it work①			
6回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit9 Looking good②		21回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit9 Make it work②			
7回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit9 Looking good③		22回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit10 Make it work③			
8回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit10 Risky business①		23回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit10 Make it work①			
9回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit10 Risky business②		24回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit10 Make it work②			
10回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit11 Me,online①		25回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit11 Pushing yourself①			
11回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit11 Me,online②		26回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit11 Pushing yourself②			
12回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit12 Outdoors①		27回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit12 Life'slittle lessons①			
13回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit12 Outdoors②		28回目	習得した用語を用いて、会話を実践することができる unit12 Life'slittle lessons②			
14回目	確認テスト		29回目	試験			
15回目	解説、グループワーク 習得した文法を活用し説明することができる		30回目	解説、グループワーク 習得した文法を活用し説明することができる			
準備学習 時間外学習	授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。						
評価方法	1. 期末試験 (50 %) ※オンデマンド 2. 中間試験 (50 %) ※オンデマンド 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。						
【使用教科書・教材・参考書】							
Evolve 2・3							

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	産学連携プログラム	必修選択	必修	年次	1	担当教員	
科目名 (英)	企業プロジェクトⅠ (Business Project Ⅰ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	通年
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	(2)	曜日・時限	土曜日・3限

【授業の学習内容】

企業から出された企業課題に対して、学生が主体となった取り組みを行っていきます。プロから直接学び、現場の中
でともに活動することにより、実践力・現場力を高めていきます。

実務経験：業界代表者及び企業各部署担当者

【到達目標】

業界の方、企業の方から直接学び、課題解決に向けた実践力・現場力を習得する。

授業計画・内容

1回目	企業プロジェクトの目的や意図を理解し、主体的に取り組めるようになる。		
2回目	スポーツテクノロジー業界について理解し、説明ができるようになる①		
3回目	スポーツテクノロジー業界について理解し、説明ができるようになる②		
4回目	スポーツテクノロジー分野の企業の説明を聞き、具体的な仕事について説明ができる①		
5回目	スポーツテクノロジー分野の企業の説明を聞き、具体的な仕事について説明ができる②		
6回目	スポーツテクノロジー分野の企業の説明を聞き、具体的な仕事について説明ができる③		
7回目	スポーツテクノロジー分野の企業の説明を聞き、具体的な仕事について説明ができる④		
8回目	企業説明や業界研究により、企業が持つ課題を考えることができる①		
9回目	企業説明や業界研究により、企業が持つ課題を考えることができる②		
10回目	企業説明や業界研究により、企業が持つ課題を考えることができる③		
11回目	企業の課題について話し合い、解決に向けた取り組みを計画・実行できる①		
12回目	企業の課題について話し合い、解決に向けた取り組みを計画・実行できる①		
13回目	企業の課題について話し合い、解決に向けた取り組みを計画・実行できる①		
14回目	試験		
15回目	解説		
準備学習時間 外学習	業界・各企業等を事前にしっかり調べておくことが重要です。		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (100%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	各業界で活躍する方々と共に学び、即戦力となる人材を目指しましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	特別講義	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
科目名 (英)	特別講義 I (Special Lecture I)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	実習	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（I 部）			（単位）	（2）	曜日・時 限	土曜日・1限 2限
【授業の学習内容】 各企業人事担当者、及び各チームトレーナー、フィットネスクラブインストラクター、スポーツマネジメント分野等 業界の方々から、知識を得て、自分たちが目指す道を明確にしていく。各業界の現状や最新情報等を知ることで、将 来像を描く。 ※実務者経験　：各業界プロ、各企業の人事担当等が講演。							
【到達目標】 業界の方、企業の方から知識を得ることにより、自分の将来設計の一助とする。							

授業計画・内容			
1回目	企業説明会により、自分の目指す企業・分野の話を聴くことができ、将来像を明確にすることができる①		
2回目	企業説明会により、自分の目指す企業・分野の話を聴くことができ、将来像を明確にすることができる②		
3回目	企業説明会により、自分の目指す企業・分野の話を聴くことができ、将来像を明確にすることができる③		
4回目	企業説明会により、自分の目指す企業・分野の話を聴くことができ、将来像を明確にすることができる④		
5回目	企業説明会により、自分の目指す企業・分野の話を聴くことができ、将来像を明確にすることができる⑤		
6回目	企業説明会により、自分の目指す企業・分野の話を聴くことができ、将来像を明確にすることができる⑥		
7回目	実習先チームのトレーナーの話を聴き、プロスポーツ及びプロチームのことを知ることができる①		
8回目	実習先チームのトレーナーの話を聴き、プロスポーツ及びプロチームのことを知ることができる②		
9回目	実習先チームのトレーナーの話を聴き、プロスポーツ及びプロチームのことを知ることができる③		
10回目	フィットネスクラブ支配人、インストラクターの話を聴き、フィットネス業界を知ることができる①		
11回目	フィットネスクラブ支配人、インストラクターの話を聴き、フィットネス業界を知ることができる②		
12回目	パーソナルジム経営者、パーソナルトレーナーの話を聴き、昨今のパーソナルトレーニング事情を知ることができる①		
13回目	パーソナルジム経営者、パーソナルトレーナーの話を聴き、昨今のパーソナルトレーニング事情を知ることができる②		
14回目	特別講義を通し業界研究を行い、自分の目指すスポーツ・フィットネス業界を知り将来設計を描ける①		
15回目	特別講義を通し業界研究を行い、自分の目指すスポーツ・フィットネス業界を知り将来設計を描ける②		
準備学習時間 外学習	各企業・各チーム等のことを事前にしっかり調べておくことが重要。		
評価方法	1. 定期試験（80％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（100％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生へのメッセージ	各業界で活躍する方々の話を聴き、自分たちが目指す道をより明確にしていきたいと思います。積極的な姿勢で参加してください。		
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	資格・検定対策	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	
科目名 (英)	ビジネスプランニング (Business Planing)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	通年
コース	昼間（I部）			(単位)	(2)	曜日・時 限	土曜日・2限

【授業の学習内容】

ビジネスプランの基礎を学び、ビジネスの基礎について理解できる。また、ビジネス分野で必要となる資格・検定の取得に向けた知識を身に付ける。

実務経験：各検定・資格の担当者

【到達目標】

ビジネスプランについて理解し、新たなビジネスを企画・提案することができる。

授業計画・内容

1回目	ビジネスプランについて理解し、説明ができる		
2回目	ビジネスにおけるアイデアの発想法について理解し、実践できる①		
3回目	ビジネスにおけるアイデアの発想法について理解し、実践できる②		
4回目	ビジネスモデルについて理解し、説明ができる①		
5回目	ビジネスモデルについて理解し、説明ができる②		
6回目	既存のビジネスプランについて理解し、実践に向けた応用ができる①		
7回目	既存のビジネスプランについて理解し、実践に向けた応用ができる②		
8回目	既存のビジネスプランについて理解し、実践に向けた応用ができる③		
9回目	既存のビジネスプランについて理解し、実践に向けた応用ができる④		
10回目	ビジネスプランの方向性について理解し、説明ができる①		
11回目	ビジネスプランの方向性について理解し、説明ができる②		
12回目	ビジネスプランの企画書が作成できる①		
13回目	ビジネスプランの企画書が作成できる②		
14回目	試験		
15回目	解説		
準備学習時間外学習	各企業がどのようなビジネスプランを持っているのかを主体的に調べていく必要がある。		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生へのメッセージ	既存のビジネスプランを知るだけでなく、そこから新たなビジネスを生み出せるようにしていきましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	コーチング	必修選択	必修	年次	2	担当教員	
科目名 (英)	スポーツ心理学 (Sports psychology)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）					曜日・時限	土曜日・1限 2限
【授業の学習内容】 スポーツが個人の人格形成に及ぼす効果や影響を知ることがを目的として、個人の性格や環境などがスポーツの選択・パフォーマンスにどのような影響を与えられるかを学習する。さらにスポーツへの動機づけやコーチングの評価などの原理・原則から具体的な方法論までを学ぶ。また、身体・運動発達における心理学的発達への影響や、個人スポーツ・団体スポーツそれぞれに必要なメンタルトレーニングや、選手への指導方法など幅広く習得する。 実務者経験：スポーツ心理学・運動心理学を専門とし、選手の競技向上に向け、心理的側面からサポートを行う。選手に対してのメンタルトレーニングの実施・及びセルフコントロールに関しての指導を現在もおこなっている。							
【到達目標】 スポーツへの動機づけやコーチングの評価などの原理・原則から具体的な方法論を実践することができることを目的とする。 〈具体的な目標〉 目標①スポーツへの参加・継続に関わる動機づけ（モチベーション）や動機づけに関わる心理社会的要因について説明ができる 目標②競技スポーツの心理的特徴、コーチングに関わる心理要因について説明ができる 目標③リラクゼーションやイメージなどのメンタルトレーニングの方法や身体に与える影響について説明ができる							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション	
2回目	スポーツと心の関係について説明することができる	
3回目	スポーツ集団と人間関係における問題について説明できる	
4回目	競技者の精神面の強化に関わる問題について説明できる	
5回目	競技者の自己コントロール能力向上に向けた養成方法を実践することができる	
6回目	競技成績と動機づけの関連性について説明することができる	
7回目	動機づけを高めるトレーニングや競技意欲向上のトレーニング原則について説明・実践することができる①	
8回目	動機づけを高めるトレーニングや競技意欲向上のトレーニング原則について説明・実践することができる②	
9回目	動機づけを高めるトレーニングや競技意欲向上のトレーニング原則について説明・実践することができる③	
10回目	コーチングの心理について説明できる	
11回目	指導者による心理的サポートについて説明することができる	
12回目	指導者による心理的サポート例	
13回目	心理的問題とその対応策について発表	
14回目	定期試験	
15回目	試験解説	
準備学習時間外学習	毎授業の積み重ねで展開していきます。前授業で習った内容を復習することを忘れないようにして下さい。	
評価方法	1. 定期試験 (80%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (20%) 5. 実地試験 (%) 評価方法はGPA制度となります 100～80点 S 80～60点 A 70～60点 B 60～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生へのメッセージ	スポーツにおける心理的問題を考慮した指導者に向けた授業になっています。積極的な授業参加と意見交換を期待しています。	
【使用教科書・教材・参考書】		
日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成テキスト		

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	パフォーマンス	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	木村 友紀
科目名 (英)	レジスタンストレーニングⅡ (Resistance TrainingⅡ)						
学科	スポーツマネジメント学/ロジック科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	2	曜日・時限	火曜日・5限

【授業の学習内容】

前期はトレーニング器具の名称、使用方法、また基礎となるトレーニングの種類・方法・効果を中心に習得しました。

今期は身につけた基礎となるトレーニングやエクササイズテクニックをさらに深め、新たなトレーニングやエクササイズテクニックを習得。

より専門的なトレーニングや、エクササイズテクニック知ること、様々な対象に応じたトレーニング指導動ができるよう実習を行う。

* 実務経験

チームトレーナー：高校硬式テニス部、高校ラグビー部、大学ラクロス部、

パーソナルトレーナー：アーティスト、バレリーナ、プロテニスプレーヤー、プロボクサー、プロラグビー選手

京都府国体テニストレーナー、島津全日本テニス室内選手権大会トレーナー

【到達目標】

自身で正しいトレーニングを説明・実演できるようになる事。

上肢・下肢のトレーニング・プライオメトリックトレーニング・パワーエクササイズ様々な対象に応じたトレーニングのプログラミングと指導
が行えるようになる事。

授業計画・内容			
1回目	上肢のトレーニング①		
2回目	上肢のトレーニング②		
3回目	上肢のトレーニング③		
4回目	下肢のトレーニング①		
5回目	下肢のトレーニング②		
6回目	プライオメトリックトレーニング①		
7回目	プライオメトリックトレーニング②		
8回目	パワーエクササイズ①		
9回目	パワーエクササイズ②		
10回目	パワーエクササイズ③		
11回目	トレーニングメニューの作成・指導①		
12回目	トレーニングメニューの作成・指導②		
13回目	総復習		
14回目	定期試験		
15回目	試験解説		
準備学習 時間外学習	前期のレジスタンストレーニング、解剖学の復習が必要です。		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法は G P A 制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	定期試験 (100%)
受講生への メッセージ	様々な対象に応じたトレーニングが行えるようになる為にも、より多くのトレーニングを学んでいくとともに、実際に自らがトレーニングを体験し、色んなことに気づき感じていくことが大切です。 正しいトレーニングを指導するためにも、まず自らがトレーニングを行っていきましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】			
NSCAジャパン パーソナルトレーナーの為の基礎知識			
目でみる筋力トレーニングの解剖学			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	コンディショニング	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	武山 修
科目名 (英)	コンディショニング概論 (Conditioning Introduction)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間 (Ⅰ・Ⅱ部)					曜日・時限	木曜・2限
【授業の学習内容】							
スポーツ選手のコンディショニングに関わる上で重要なコンディショニング評価、その方法や内容の基礎を理解し、実際の例を挙げその問題に対して的確なコンディショニング評価ができるような知識・技術を修得する。							
* 実務経験:2010年に日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格取得。同時に鍼灸師の資格も取得。野球を中心にプロ・実業団・学生など様々なカテゴリーのコンディショニング指導に携わる。ジュニア世代からの傷害予防にも力を入れる。							
【到達目標】							
スポーツ選手のコンディショニングに必要なとされるコンディショニング評価、その方法や内容の基礎を理解し、実践できるようにする。また、1つのコンディショニング方法だけではなく幾つもの方法を考えられるようになる。							
授業計画・内容							
1回目	コンディショニングの概論が理解して説明できる						
2回目	コンディショニングの要素が理解して説明できる①						
3回目	コンディショニングの要素が理解して説明できる②						
4回目	コンディショニングの評価法が理解して説明できる						
5回目	コンディショニング評価が理解して説明できる						
6回目	トレーニング計画とコンディショニングが理解して説明できる①						
7回目	トレーニング計画とコンディショニングが理解して説明できる②						
8回目	トレーニングの原則が理解して説明できる						
9回目	トレーニングのカテゴリーが理解して説明できる						
10回目	競技力向上を目的としたコンディショニングが理解して説明できる						
11回目	スプリントトレーニングとエンデュランストレーニングが理解して説明できる						
12回目	サーキットトレーニングが理解して説明できる						
13回目	まとめ・復習						
14回目	定期試験						
15回目	試験解説						
準備学習 時間外学習	コンディショニングは幾つもの要素が積み重なって評価するものです。毎授業の積み重ねが非常に重要になりますので毎授業後の復習をしっかりと行ってください。また自分の専門競技以外の競技についても興味をもって理解を深めて下さい。						
評価方法	1. 定期試験 80% 2. 平常点 20%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	定期試験と平常点で評価をします。				
受講生への メッセージ	スポーツにおけるコンディショニングの必要性、重要性の基礎にふれ、コンディショニングのもたらす効果について学習していきましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
・日本体育協会 AT専門テキスト（6巻）「予防とコンディショニング」							

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	ビジネス論	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	井戸田 修一
科目名 (英)	スポーツビジネス概論 (Sports Business Theory)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
コース	昼間 (Ⅰ・Ⅱ部)					曜日・ 時限	水曜・1限

【授業の学習内容】

スポーツとビジネス、スポーツと社会、スポーツと教育、チームと地域、施設と地域について学び、競技スポーツやフィットネス施設の運営マネジメントの基礎的知識を身に着き、説明できる知識の構築を行う。
 ※実務者経験：大学卒業後、スポーツクラブで約12年勤務。自分自身の現場の中で培った接客等のスキルはもちろん、店長としての現場マネジメントを通して、店舗運営や人材育成等多岐に渡り担当。スタジオレッスンも多数担当。過去1レッスン内にて120名近くの集客実績もあり。

【到達目標】

マネジメントの基本的な枠組みを理解し、スポーツの事例より組織（チーム、クラブ）のマネジメントについて重要な要素を説明することができる。一般企業のビジネス（マネジメント）と、スポーツ・チーム企業のビジネス（マネジメント）の違いを理解することを目的とする。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション		
2回目	スポーツビジネスについて説明することができる①		
3回目	スポーツビジネスについて説明することができる②		
4回目	企業のスポーツ活用について説明することができる		
5回目	リスクへの対応について説明することができる①		
6回目	リスクへの対応について説明することができる②		
7回目	スポーツ用品ビジネスについて説明することができる		
8回目	スポーツ食品ビジネスについて説明することができる		
9回目	スポーツイベントビジネスについて説明することができる		
10回目	プロスポーツビジネスについて説明することができる		
11回目	選手のマネジメント・エージェントについて説明することができる		
12回目	日本と海外のスポーツビジネスについて説明することができる		
13回目	試験対策		
14回目	試験		
15回目	試験解説		
準備学習時間外学習	授業で知った内容を必ず復習をして知識の定着を図ってください。		
評価方法	1. 定期試験 (100%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生へのメッセージ	組織・チーム運営は1人では経営できません。仲間と協力できることがチームマネジメント能力となります。		
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	スポーツビジネス	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	井戸田 修一
科目名 (英)	スポーツビジネス演習 I (Team Business Seminar)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			（単位）	（2）	曜日・時限	木曜日・4限
【授業の学習内容】							
コミュニケーション、長期計画（キャリアプラン）、スポーツビジネス調査、マーケティング、ヒューマンリソース、アカウント ティング、プレゼンテーションの基礎知識を身に付け、スポーツビジネスの社会情勢について理解・考察することができる知識 を身に付ける授業を行う。 ※実務者経験：大学卒業後、スポーツクラブで約12年勤務。自分自身の現場の中で培った接客等のスキルはもちろん、店長とし ての現場マネジメントを通して、店舗運営や人材育成等多岐に渡り担当。スタジオレッスンも多数担当。過去1レッスン内に て120名近くの集客実績もあり。							
【到達目標】							
マーケティングの基礎的な考え方を実践的なビジネス事例をもとに、ディスカッションを行い、ディスカッションを通して求め られるものを提供するすべを探るスキルを身に付けることを目的とする。							

授業計画・内容			
1回目	日経新聞より話題の抽出「春商戦」について説明することができる		
2回目	マーケティングの基礎について説明することができる		
3回目	メディアツール（広報に使うメディア媒体の特性をまとめる）について説明することができる		
4回目	サービスと世話について説明することができる		
5回目	満足（ベネフィット）について説明することができる		
6回目	社会的影響について説明することができる		
7回目	次への関連商品（トレンド）を考察することができる		
8回目	サッカーワールドカップ 課題設定を行う		
9回目	関連商品を考案することができる		
10回目	メディア戦略について説明することができる		
11回目	社会的影響について説明することができる		
12回目	次のトレンド調査（オリンピックの影響を含む）について説明することができる		
13回目	調査発表①		
14回目	調査発表②		
15回目	まとめ		
準備学習時間 外学習	新聞やネットニュースで今起きているスポーツビジネスに関連する問題を調べておいてください。		
評価方法	1. 定期試験（100%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	実社会で起こっている、政治的・世論的な観点をもとに、現在の話題に対して「考える」力をつけることで、市場を予測する力をつける。		
【使用教科書・教材・参考書】			
日経新聞			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	広告・宣伝	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	水谷 匡宏
科目名 (英)	スポーツデザインⅠ (Sports DesignⅠ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	月曜日 3限

【授業の学習内容】

映像を使ってスポーツの新しい可能性を考えて、技術を習得する。

*実務経験:

映像制作会社の取締役として映像の開発・制作・経営管理を担う。

【到達目標】

映像制作の基礎を習得する。

スポーツと映像の現状と新しい活用方法を考える

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション・カリキュラムの目的・到達目標
2回目	基本的な動画制作のステップを習得する
3回目	映像制作の基礎について実習を行う。
4回目	写真撮影の基礎を習得する。
5回目	映像の編集準備Ⅰを習得する
6回目	映像の編集準備Ⅱを習得する
7回目	映像の編集準備Ⅲを習得する
8回目	映像の編集準備Ⅳを習得する
9回目	映像制作①の実習を行う
10回目	映像制作②の実習を行う
11回目	映像制作③の実習を行う
12回目	映像制作④の実習を行う
13回目	映像制作⑤の実習を行う
14回目	映像制作⑥の実習を行う
15回目	前期期末試験

準備学習
時間外学習

映像の可能性と興味を持ってその活用方法と今後の可能性を考察する。

評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	1. 定期試験 50 (%) 4. 課題成果 50 (%)
------	---	---	----------------------------------

受講生への
メッセージ

映像の制作（企画・撮影・編集）の技術と考え方を基礎にスポーツでの映像の新しい活用方法考えていきましょう

【使用教科書・教材・参考書】

- ・講師が教材を用意いたします。（プリント配布・データー）
- ・USBを持参して下さい。

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	テクノロジー	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
科目名 (英)	スポーツテクノロジーⅠ (Sports TechonologyⅠ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期 月曜日・1限
コース	昼間(Ⅰ部)						

【授業の学習内容】

トレーニングを効率的・効果的なものにするためには、その動作や戦術について観察・分析する力が必要になります。最大限のパフォーマンスを引き出すためには、トレーニングにより得られる身体機能と効果を把握しなければなりません。この授業では、スポーツの場面において活用できるであろう最新のテクノロジーを知り、身につけ、人々に伝えていけるための知識・技術を習得します。

【到達目標】

- トレーニングの効果と効率を知ることができる。
- スポーツ現場で活用されているIT・テクノロジーの現状を知ることができる。
- スポーツ現場で活用されていないIT・テクノロジーを、いかにスポーツ場面で活用できるようにするか、発想力を身につけることができる。

授業計画・内容

1回目	スポーツにおけるテクノロジーのについて知ることができる①		
2回目	スポーツにおけるテクノロジーのについて知ることができる②		
3回目	スポーツにおけるテクノロジーについて、知り得た情報を共有し、伝えることができる①		
4回目	スポーツにおけるテクノロジーについて、知り得た情報を共有し、伝えることができる②		
5回目	スポーツにおけるテクノロジーについて、知り得た情報を共有し、伝えることができる③		
6回目	スポーツ業界の発展に向けて、グループディスカッションを実施することができる①		
7回目	スポーツ業界の発展に向けて、グループディスカッションを実施することができる②		
8回目	パフォーマンス向上に向けた身体動作の特徴と分析に対して、テクノロジーを駆使した内容の実践を考える①		
9回目	パフォーマンス向上に向けた身体動作の特徴と分析に対して、テクノロジーを駆使した内容の実践を考える②		
10回目	スポーツイベントやスポーツ関連施設での取り組みの中に、新しいテクノロジーの導入を考え、伝える①		
11回目	スポーツイベントやスポーツ関連施設での取り組みの中に、新しいテクノロジーの導入を考え、伝える②		
12回目	スポーツイベントやスポーツ関連施設での取り組みの中に、新しいテクノロジーの導入を考え、伝える③		
13回目	スポーツイベントやスポーツ関連施設での取り組みの中に、新しいテクノロジーの導入を考え、伝える④		
14回目	試験		
15回目	解説		
準備学習 時間外学習	授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。		
評価方法	1. 期末試験 (50 %) 2. 中間試験 (50 %) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	今あるものを知り、新しいものを考え、その内容を伝えていく力を身につけていきましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	イベント	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	井戸田 修一
科目名 (英)	スポーツイベント企画 (Sports event Planning)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ・Ⅱ部					曜日・時限	木曜・3限
【授業の学習内容】 スポーツイベントの内容や、イベント企画を行う際に必要な知識を習得する。 実務者のスポーツクラブでの実務経験から実際に行ったイベント実例を紹介し、イベント企画方法を学んだ上で、企画運営力を習得する。 *実務者経験：大学卒業後、スポーツクラブで約12年勤務。自分自身の現場の中で培った接客等のスキルはもちろん、店長としての現場マネジメントを通して、店舗運営や人材育成等多岐に渡り担当。スタジオレッスンも多数担当。 過去1レッスン内にて120名近くの集客実績もあり。							
【到達目標】 イベント企画の授業を通して企画力を養うことで、社会に出た際に自分自身で会社に貢献できるような企画プレゼンを行えるようになることを目的とする。							

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション		
2回目	スポーツイベントとは何か？について説明できる。		
3回目	成人イベント「周年祭」実施の際の企画方法について説明できる。		
4回目	成人イベント「季節イベント」実施の際の企画方法について説明できる。		
5回目	成人イベント「スタジオ・プール運動会」実施の際の企画方法について説明できる。		
6回目	成人イベント「エリア合同スタジオコラボ」実施の際の企画方法について説明できる。		
7回目	成人イベント「総踊り」実施の際の企画方法について説明できる。		
8回目	成人イベント「リレーマラソン参加」実施の際の企画方法について説明できる。		
9回目	子供イベント「短期教室」実施の際の企画方法について説明できる。		
10回目	子供イベント「水上遊具」実施の際の企画方法について説明できる。		
11回目	子供イベント「体育教室」実施の際の企画方法について説明できる。		
12回目	子供イベント「夏キャンプ」実施の際の企画方法について説明できる。		
13回目	まとめ		
14回目	定期試験		
15回目	試験解説		
準備学習 時間外学習	イベント企画をする上で、自分だったら何をテーマにしてという事を考えて企画することが大切です。自分の企画してみたい題材を明確にしてイメージしておいてください。		
評価方法	1. 定期試験（80％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（20％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			